

『仙台多文化共生センターだより 2023年度Vol.2』

『仙台多文化共生センターだより』

各言語版の「相談員コーナー日本語訳」を紹介します。

2023年度Vol.2のテーマ：予防接種にまつわる子育てについて思うこと

英語版

相談員Z

日本と違って、カナダには母子手帳がありません。その代わりに子ども健康手帳というものがあり、5歳までの子どもの成長や予防接種を記録するためのノートです。子ども健康手帳を必ず使わなければならないという決まりはありませんが、子どもを公立の保育施設や小学校などに入學させる時は、麻疹や小児まひなどのワクチンを接種してある証明が必要になるので、子育てしている人にとって大変役に立つものではあります。そのうえ、国民医療保険に加入している子どもの医療費などは政府が全額負担してくれるので、医療分野における国のサポートは充実しているといえるでしょう。

ほかに、カナダ政府は子育てしている家族を支援するためにさまざまな政策に取り組んでいます。例えば、18歳未満の子どもがいる家庭は毎月二つの給付金を受給することができます。一つ目はCCB(Canadian Child Benefit)と呼ばれる、国税局が子育てしている方に支払う支援金です。受給できる金額は家庭の収入や納税額によって異なりますが、カナダで子どもを養育している方が全員貰える給付金です。そして、もう片方の給付金は州政府が州の住民に支払うもので、私の故郷であるブリティッシュコロンビア州では、州政府の子育て支援金をミルクマネーと呼んでいます。

国だけでなく、市町村によっても子育て支援は異なることがあります。お住まいの地域にどんな支援があるか積極的に調べることをおすすめします。

中国語版

相談員M

日本の子どもの予防接種について、私が経験したことをご紹介します。

役に立てれば、幸いです。

私は、妊娠後、居住地の市役所へ行って、「母子手帳」と別冊（乳幼児

編)を無料でもらいました。びっくりしたのは、「母子手帳」に子育ての情報が入っていて、これから生まれてくる子どものことも記入するページがありました。そこに、私が妊娠してから子どもが小学校に入るまでの健康と予防接種のことが記録されました。別冊(乳幼児編)には予防接種の接種券と医療機関のリストが入っていました。このような、当時中国にはなかったシステムに感激したことを覚えています。

更に、子どもを予防接種に連れて行くタイミングを忘れる心配をする必要もありませんでした。というのも、予防接種の期日が近づいてきた時、市の保健所から「予防接種通知書」が送られてきました。この通知には、接種の日時や医療機関の情報などが掲載されています。私は子どもの体調をみて日時を決め、かかりつけの病院に予約を取ってから行きました。病院はワクチンの種類、接種日時、接種場所、接種部位などの情報を「母子手帳」に記録してくれました。私は常に母子手帳の記録により子どもの接種履歴を確認できたので、これは大変助かりました。

予防接種は、定期接種のほか希望者のみ行う任意接種もあります(自己負担あり)。子どもたちの健康と安全を確保するために、どんなワクチンがあるか知っておくとよいと思います。

韓国語版

相談員Y

毎年12月から3月はインフルエンザが流行するシーズンです。日本では子どもがインフルエンザにかかると幼稚園や学校を休みます。出席停止期間が決まっているので、幼稚園や学校に連絡して確認する必要があります。インフルエンザや発熱のため、児童がたくさん欠席する場合は、学級閉鎖をすることもあります。学級閉鎖になるという連絡が来たら、自分の子どもがインフルエンザにかかっていなくても、学校に行くことはできません。

私の子どもは、小学校5年生の時にインフルエンザにかかって、学校を5日間休みました。病院に連れて行って、出されたお薬を飲み、子どもは数日後に回復しましたが、休んでいる間は学校の友達に会えないので、寂しそうにしていました。私も看病で予定を変更しました。インフルエンザの場合、予防接種をするかしないかは個人の判断なので、人それぞれ意見があ

とおも わたし こ じゅけん りょこう じゅうよう よてい ひか
ると思います。私は、子どもの受験や旅行など重要な予定が控えていると
きは、じゅうようか へ かぞくぜんいんせっしゅ かんが
重症化のリスクを減らすために家族全員接種したいと考えています。
インフルエンザのよぼうせっしゅ げんそくじ こふたん ていきせっしゅ
予防接種は、原則自己負担です。しかし、定期接種の
たいしょうしゃなど せっしゅひよう しくちょうそん こうひふたん
対象者等については、接種費用が市区町村によって公費負担されていると
ころもあるので、せっしゅ まえ かくにん
接種の前に確認してください。

ベトナム語版

相談員V

にほん いりよう はったつ しゅっさん こそだ かん せいど じゅうじつ
日本の医療は発達しており、出産・子育てに関する制度も充実している
ため、にほん しゅっさん こそだ ひと ふ にほん こ 子どもを健やか
に育てるためには、こそだ かん ちしき み につけることが必要です。子ど
もはびょうき にかかりやすく、いちどかんせん じゅうしょうか かのうせい
もは病気にかかりやすく、一度感染すると重症化する可能性があります。そ
のため、こそだ かん ちしき ひとつとして、せっしゅ じゅうよう ちしき
ワクチン接種は重要な知識です。

しかし、おお ひと ひつよう せっしゅ
多くの人にとっては、どのワクチンが必要なのか、いつ接種する
必要があるのかがわからず、とまど 戸惑うこともあるのではないのでしょうか。ワク
チンのしゅるい せっしゅ じき こと により、接種する時期は異なります。また、いちぶ
一部のワクチンは時間
がたつ こうか げんしょう いったい かんかく ついかせっしゅ ひつよう
経つと効果が減少するため、一定の間隔をあけて追加接種する必要がある
ものもあります。これらのちしき まえ しょうかい
知識は、前のページで紹介されているように、ベ
トナム語でよめるため、かんたん じょうほう はあく ひつよう ちしき み つ
簡単に情報を把握し、必要な知識を身に付けること
ができます。

こ 子どもがすこ せいちょう 成長するためには、さまざまなか せいの ひつよう
ワクチンを受け取る必要が
あります。こ 子どものころ わたし よぼうせっしゅ う
頃、私もベトナムで予防接種を受けました。すべてのワ
クチンはおも だ がたかんえん おも
思い出せませんが、A型肝炎ワクチンもあったと思います。

おや せっきよくてき まな こ よぼうせっしゅ けいかく た
親は積極的にワクチンについて学び、子どもの予防接種の計画を立てるこ
とがたいせつ
大切です。

ネパール語版

相談員B

わたし にほん き じっかん かいがい こそだ たいへん
私が日本に来て実感したのは、海外で子育てをするのは大変なことだとい
うことです。

かいがい こそだ し ひつよう わたし くに だいかぞく
海外で子育てするにはすべてを知る必要があります。私の国には大家族で

暮らす伝統が残っているので、子育ては楽です。おじいちゃん、おばあちゃん
が孫の面倒を見てくれたり、子育てに関することを自分が知らなくても教
えてくれたりするので、子育ても楽になります。働く女性にとっても、子ど
もを残して仕事に行きやすくなります。でも、外国だとすべて自分でや
らなければいけないので、事前にいろいろなことを知っていないと大変です。
自分の国の状況とこちらの状況は異なるので、さらに難しいです。例え
ば、子どもにどの種類のワクチンを何月にどの頻度で接種すべきなのか、子
どもが夜間に体調が悪くなった場合、連れて行く病院などを事前に把握し
ておく必要があります。私も大変でした。私はいつもネットで子育てに関
する情報を調べたり、同じような子どもを持つ母親たちと友達になったり、
子どもには一緒に遊ばせていたり自分に分からないことがあったら相談した
りしました。皆さんも、子育て中の人は、周りにいる子育て中の友達に自分
から声を掛けたり、友達になったりすると良いと思います。今は、SNSの時代
なので色々情報を簡単に手に入れる事ができるでしょう。自分の国のコミュ
ニティに、母語で相談することもできるので、以前よりは楽になっていると
思います。皆さんも子育ては大変な事だと思いますが今だけだからこそ子育
てを楽しみましょう。